

時空を越えた、メッセージ

竹内海南江

TAKEUCHI Kanae

■プロフィール:

放送1000回を超えた「世界ふしぎ発見!」(TBS系)に、ミステリーハンターとして20年、世界97カ国以上をレポート。現在もメインレポーターとして1年のうち半分近くは旅に出る生活を続けている。その体験をもとに講演や、トラベルリュック「カナナプロジェクト」を企画プロデュースするなど活躍の場を広げている。主な著書にエッセイ「お姫さまと山男〜旅する私のおかしな恋愛」「おしりのしっぽ〜旅する私のふしぎな生活」(集英社be文庫)小説「アフリカの女」「うたかたの月」(幻冬舎)等。公式HP「かなな共和国」<http://www.kanana.com/>



旅を生業とすること20年。この間、世界中の様々な遺跡を取材してきた。中でも「凄い!」と、見るたびに喚声を上げたいのが、エジプトのピラミッド。21回訪れているが、その壮大さ、当時の人々の叡智の素晴らしさに毎回感動する。この他にも、素晴らしい遺跡はたくさんあるが、最近訪れたイタリアにある古代ローマの都市ポンペイは、当時の人々の息遣いを感じることができる、大変貴重な遺跡である。

標高1281mのヴェスヴィオ火山の麓にあるポンペイは、土壌がとても良く、豊かな農作物とナポリ湾からの海の幸に恵まれ、大変栄えていた。しかし紀元79年のヴェスヴィオ火山の大噴火で、町は一夜にして灰に埋もれてしまった。突然の時間の停止。それから1700年の

間忘れ去られ、発見されてからは、250年という発掘の時を経て、蘇ったのである。

町に入ると道路が、馬車の走る車道と歩道に分かれており、横断歩道である飛び石まである。そしてその脇には、鉛の水道管が走っていて、その水量調節の金具は今のものと変わらない。古代ローマの人々は大のお風呂好きだったので、公共浴場がいくつもあり、垢すりやマッサージをしてもらっていた。それから音楽堂や劇場、闘技場と、充実した公共施設に驚かされる。人々は午前中働き、昼食をとり、昼寝をしてお風呂に入りくつろぐ。そして「ちよいと一杯!」ということで、居酒屋が30件以上もあった。

豊かな暮らし。それは、個人の家でも見ることができ

る。まず門をくぐると、アトリウムという広間がある。この広間の壁には、植物、花、天使、美しい女性といった色鮮やかな壁画が描かれており、誰でも自由に広間に入り、その壁画を見ることができた。それはまるで町中が美術館といった感じで、人々が芸術をこよなく愛していたことがわかる。ちなみに、アトリエの語源はこのアトリウムである。そして先に進むと中庭。緑があり花が咲き噴水がある。実は、水道施設が完備されていたので、ガーデニングが盛んになり、造園技術が発達した。更に、床に描かれたモザイク画も美しい。歴史や伝説、それから美味しい野菜、果物、魚介類といった様々なものが生き生きと描かれていて、当時の食文化を知ることができる。中には「猛犬注意」といった、ユニー

クなものまである。

このように、驚くほどの豊かさの中に、ゆとりと楽しみがあることがわかる。おそらくポンペイの人々にとって、美や芸術は富の象徴であるとともに、人生を楽しむためのものだったのかもしれない。そう言えば、町の守護神は愛と美の女神ヴィーナス。そして、ワインの神であるディオニュソス(バックス)を信仰していた。

「人生を謳歌せよ!」古代の人々から、そんなことを言われているように思えてならない、ポンペイの町である。

ヴェスヴィオ火山とポンペイ
(写真:竹内海南江)